

バストス週報

第1568号
昭和五十二年
六月六日
月曜日発行
Diretor
Koiti Mori
Redator
Shocho Miyatake
Rua 10 de
Novembro 882
C. Post. 112
Fone. 340
Bastos
E. S. P.
Anual
Cr. 井
110.00
前 金
Adiant.

涙流 23

空港争議へ一言

○羽田空港が国際空港として少し手遅れになって来たので千葉成田土地を遷出して、新たに空港を建設したのは四年前である。その時も土地を放さぬといつて村民は頑強に反対し、学生や労働者が(四百人から六百人)も村民側に応援して機動隊と対峙し、土地の測量や杭打ち作業の妨害をした。村の婦女子たちが多勢徹夜し座り込み運動をしたり、学生労働者の団体が警備隊に夜襲をかけて隊員を数人殺害したり、随分大騒ぎをしたものであった。

○その後もしばしは官憲側と空港反対側とは種々小せり合をくり返し乍ら敷地の整理は進んだようであるが、反対側は、空港清走路の末端に当る場外近くへ三十メートル以上の鉄塔を二基打建てる事を検討考げた。

○この争議については雑誌で読んだことはあるが、忘れもしまったので再録するわけには行かぬが、空港所定の土地は只で召上げたのでは勿論ない。中には辛先して買上げに応じた連中も居た筈だ。だが、先祖代々から土地を手放すということには、農家にとって容易ならぬ争いなので元々ないといつて最後まで頑張ったものの法律で定められた国営の空港建設という大義に押されて、仕方なく応じたものである。もうどこまで話がきま、たものを、あくまで建設反対とか、空港破壊などと叫んで、たとえ場外であろうとも、清走路の行く手に鉄塔を打ち立てて邪魔をするのは、いかにも、たちの悪い反対のためには手段を講ばぬ非常識な行爲といわねばなるまい。

○いったい成田空港は、いつ開港するのだろうか。あの鉄塔をそのままにしておくのか、という国営側の手ぬるさを批准する手や上ったので、今年中には開港すると声即かあった。当局は今月初旬鉄塔を除去した。警備隊は不意をついて鉄塔を占拠し、一千二百名とかの機動隊員を配置して撤去妨害を寄せつけぬ。それでむいつの間にか学生労働者の妨害組は次第に数を増して四百名からになり、無法にも実力をふるって作業の邪魔をする始末、ついに三、四百名に及ぶ検挙者を出してしまつた。

鉄塔はぶつ例されたが、この跡始末をめぐって又々衝突が起つた。十日の乱闘では遂に流血騒ぎとなり、双方から数十名の負傷者を出したが、反対労働者東山某は遂に死亡したという。

その弄儀は盛大だったと新聞に載つていたが、反対同盟の戸村委員長という人は平昔の中で「東山君の遺志は吾々の心の中に生きてゐる。今日の悲しみを大きな怒りに変え、戦いつづけよう」と言つてゐる。東山某の死は喧嘩をして怪我をし、そのために招いた死ではあるが、死んでよいこと

毎度ありがとうございます

御宿泊とお食事には
御婚礼披露宴とその他お仕出しに
御家族連れのおいしい御食事に
日本料理とブラジル料理
毎木曜日は当店自慢のフェジジョアータ
バストス名物料理



HOTEL PRIMAVERA

Rua Pres. Vargas 271, C. Post. 60, Fone 29 Bastos S.P.

ルア・プレシテンテ・ヴァルガスニヒト一番地
御旅館プリマヴェーラ

ホテル森川

電話 九二二番
郵便 六〇番

FLORA BASTOS

T. MORIMOTO & FILHOS LTDA.

Rua Duque de Caxias 524, C. Post. 171, Fone: 29

森元苗木本舗

生活安定に備えて果樹園造成を!!
果樹園成功の秘訣は改良種の苗木を獲ぶ事
優良の苗木は最古の信用を誇る農林省公認の
フロアバストス森元苗木本舗に
御相談下さい。親切に御相談に応じます
蘭の珍種、改良種は全伯中の有名な園とは
特約をしておりますので超特価で差上げしております。
果樹園の外、植林樹、庭木、花木、生垣用樹、盆栽用
鉢植用・松・杉・松・ツバキ・シシ・サクラ・モミジ
モクレン・ヒイラギ・モクセイ・バラ・サクラ等々
電話 二一九番

はない。気の毒に思うが、さりとて、その死を無駄にせず、これから、とことん空港反対の闘争を続けようというのには、空港そのものの存在を否定する行為を実行しようとする意味があるのであろうか。

そういう危険思想をもつ団体だとすれば、成田空港へ着陸する航空機に爆弾を投げつけて、日本国の国威を傷けるくらいの手は平気でやるだろう。

○成田空港は国際的のもので、日本の玄関に当る大切な場所である。外国から来遊する旅行者も益々増加し、皆この玄関口を通過するわけだが、空港破壊

同盟などという強団体が、ことごとく破壊行為をやりはじめると一体どういふことになるか、法律というものは、けっこうなものだが、乱暴行為などやつたあとでないと、犯人を逮捕することは出来ぬのだから、不便なものでもある。

○ 企業商社が日本経済の機軸をなすところ、かつて商社の破壊をしたことがあったが、結果的には害を興えてかたがたでないと、犯人を探すわけにいかぬ従来例から行くと、空港破壊を宣言をしても、宣言だけでは、その団体に手を下すわけにはいかぬ。実力行使するまで待たねばならぬというところに尤もか、欠陥があるようだ。空港は清走路だけじゃない。管制塔をはじめ、様々な施設が、だんだんと出来るであろうが、どういふもえも建設妨害の手をのべてくるだろう。

○ 成田空港は、すでにきま。建設だが、かりに、もう少し東か西に寄るかということも議論はされておれば、又は当時全く異なった地域になったかも知れぬが、どこにきまっても、せせこましい日本のことだから、物議が起ったことだろう。

○ 筆者は物議(土地代など)のことは之れわが、全学連のような物騒な連中仕事探しにどびついて来て、目のかたきのように機動隊などにぶつかって行くあのゴロツキ精神と態度がいやなのである。成田空港問題などについて諸賢はどのようにお考えであろうか。筆者の未熟な点を御教示賜わり度いと思う。 示 音

金は易々儲からない話

○ この話は先き頃ある人から聞いた話だが、人物がバストス実在の人々なので、名前はずべておかげにならない。別に悪い話ではなく詐偽にかかったとか、だまされたというのではないが、話の筋に何か欠けたような処があるようで面白い。

○ 品物を安くは入れて高く売れば儲けるのは普通の通則でことさら感心することもないが、では何がよかろうと云うことになる、これほど簡単ではない。たとえば桐面を植えて四、五年もたつと、幹の直径が四、五十センチ・高五、六メートルに及ぶ。これは桐材不足の日本から引、張りだこで賣りに来るから、植えてさえおけば、いくらでも売れる。と云うわけで、近來農家の副業として大いにもてはやされている。

大きなことを云えば大豆作でも、珈琲作でも国際農産物だから、個人の商売にはならぬが、然るべき両の手を経れば、よい金儲けになる。養鶏だけでは過去の業績から見ても鶏一本鶏では多少の不安がないとは言えない。どうしてもホンカンが安全でないとする、何か副業的なものを用意しないと、将来への伸張性がないということがこの話らしい。

○ この話をバストスへ持ちこんで来たのはAドットルである。いわく「君たち永年作物ばかりに目をかけないで、牛に目をつけたらどうか。何、牛を飼うのでなく、牛を賣うのだよ。牛を賣い始めて、それを牛群輸送用のシャシボ機で日本へ送るのだ。日本は君たちノ知っての通り、飼料不足を困っているが、肉牛など大歓迎だ。生牛

INSTITUTO DE OFTALMOLOGIA DE TUPÃ
 Clinica e Cirurgia de Olhos Rua Carijos. nº 278
 Prescrição de óculos e lentes de contato Fone: 2903 TUPÃ

Dr. Isao Umino
 Dr. Luiz Carlos Alves Negrão

Dr. 海野 勲

ツパン市
 ルアカリジョスニ七八番地
 ロドビアリア前
 電話 二九〇三番

眼科専門医

ツパン市ロドビアリア前に
 診療所を開けましたので
 バストス出張が不可能に
 なりました。
 多量には誠に恐縮ですが治
 療の方はツパン市までおいで
 下さるようお願い致します
 診療時間は日曜祭日以外毎日
 午前八時から十二時まで
 午後三時から六時まで
 I.M.P.S 受け致します

を逃して大金を儲ける」と説明したが、打るほど桐の木を植えたリするより生牛を飛行機で輸出した方が手取り早いと、牛に乗った人は可なりある筈だ。牛は誰が買ひ集めるか、買入れた牛はどこにバストスへ入れぬか、牛用のシャシボ機はどうするか、日本では何の会社が受け入れるのか、と、それぞれ詳細の説明があった。ところが、こまかいことはドットルまかせ、何よりもまず資本金を用意したくはと、資金集めにかり、即ち一株一千二百クルレイロ、毎月百コント宛払い込み、一人を何株持ってもよろしい。と正規の株式ではないが、相当額が集まったので牛集めに取リかかり、某所のバストスに入った。

ところがバストスの面積と牛頭の割合がとれないので濃厚飼料を細手しない限り瘦牛となってしまう。
 ○ Aドットルには仔牛というか、地方巡りの助手があり、各地で前記のような企業説明をしているが「この生牛輸出企業に對して某有力者がアマゾン地域に何干アルゲールの土地を寄贈し、バストスを造成するので将来益々有望」の一語がある。二、三千アルケールのバスト寄贈の件には一も二もなく皆とびついたらしい。説明者は、「(こ)と思つた(主として農家)を訪問して、すすめるわけで、バストスでもむすかしどうな家は牧場しているらしい。

○ 前記の様に、バストスでは金も集ったし、第一回の牛集めもやっだが、ほとんど牛がやせるので、係りの人は驚いて、ホヤデー口にあつたが、とりあえず金にしてしまった。その金は各自に返金せず、某銀行に定期預金してあるので、実質上の損害は受けていないぞ

そうである。よく研究して見ようと云うことらしい。
 ○ かりに、アマゾンにバストがあるにしても、バストスのような遠隔地から牛を送るとすると、いすれ船便となるだろうが、桐野や大豆とちがって桐野が生きたから、種々改良をしておくわけにしておくわけにはいきまい。又、ブラジル牛には、アフト・グとかいう病気があるので、これまで外国へ輸出されてはいないようだし、外国貿易となると、政府の許可も必要だろうし、正規の株式会社でも設立して法規に則ってやらねばなるまいし、はやばやと先発しようまく行かなかつたのは気の毒だが、たまたまこれなり、取られたりしたわりではないから幸いだった。国内での商売とちがって輸出となると、系統業者には商売がわらう。金儲けは楽ではないというおどまつの一席。

狸の説法

罪なき者石にて打て

イエスがあらるといふ説教をしていると、學者や知識人たちが一人の女をつれてやめて来て、
 「この女は普通の現場を押えられたのです。モーセの律法に、普通の現場を取り押えられた女は石で打て、とありますが、あなたならどうしますか」といった。イエスの返事次第では、イエスを邪教の徒として訴えとやろうという下心があつた。たのしめて見るのであつた。その時イエスは、地面に何やら書き書いたが、學者たちがうろたへてくつ伏すので、
 「どんなに打つたければ、あなたの方の内蔵、自分は罪のない人間であると思つた人が先ずその女を石で打ちなさい」と云つて、又地に踏み、こんで指で字を書いて、再び手に書いた。學者たちは良心にとがめて、無言のまま一人去り、二人去り、老人も小供も散つてしまつた。

イエスと、その女と二人きりになつた時、イエスは女に向つて誰か悪うぬか、と尋ねると女は、はい、誰も悪うしません、と答えた。その時イエスは女に、
 「それではお前も立ちまゐるがよい。私もお前を救かないだろう、これから罪を犯すなよ」

○ この話は、新約聖書ルカ伝第八章に記述されている一部であるが、さしずめ日本なら、問答はつた、とこ動くな。重ねておいて二つ、と言つて大見待を切るところである。ほんとは切つたか、どうか知らぬが、科白(せりふ)からいふと、音のウタマで石で打てというのだから、女だけが馬鹿を見ることになる。吾等とか、問答というのの洋の東西、時の古今を問はず、あつたものようだ。

日本では、以前は姦淫罪という罪科があつた筈だが、現存では罪科でも取り上げられない。離婚の訴訟はできる。女を殺とられる男は阿呆(あほう)という、ことだろう。ブラジルでもまかそうではなからうか。

糸 音

寄稿

海の魅力

梶山 双樹

コンクリートでは、ルイゼさんも、城も古い二人は少し海いだだけてサツサとホテルへ引きあげてしまった。足ん目には、こんな美しい海なのに、やはり汚染を気にしてゐるのだらう。私一人でどうとう四時間も頑張りてしまった。
 サントスの市役所も降りて汚れた様な海水汚染という程深い霧根には相当頭痛を痛めている様だ。大田川海水浴場を降りたグールジャにとつてしまつてはたまらない。

朝早くから市役所のラストレーを信じた海霧があの広い砂浜を隔てて隔まで綺麗に掃除をしている。浴客が捨てたリッショや、満潮時に浜へ打ち上げられた海の藻屑を掻き集めて、よりよい快的な海水浴を嗜しんでもらおうと努めている処を見ると、特別に海水浴禁止水域と云うわけでもない様だ。
 十二時頃にみると、さしも広いブライアも想う程人と色とりどりのパラソルに覆われて海のことなくしまつてしまふ。所謂、これが海の魅力と云うものだろう。

ホテルの窓から眺められる夜の噴水は水々青に色どられて目の覚めろように美しい。暑さを法々夜の歌々客は噴水の園からブラッサ、インベンテンテへかけて大変な人出だ。パールモソルベッテ屋も四米もあるカルサードにメーサもカデーラも持ち出して

おしらせ

法要と法話の催し

日時 来る六月二十六日(第四日曜日)

午後二時より

場所 バストス総合会館

講師 ツパン西本願寺

寺井開教師

寺井先生は三カ月前にツパンに着任され、バストスで講演ははじめてごす。どなたもお誘い合せ御来聴ください

各位

バストス明老会

歩く足もなしほどだ。どうもサントス人は男も女も一倍食欲旺盛な様で頼むし。

サントスと言う町には日系人は真に少い様だ。此の遊船の中でも日系人は殆ど見かけない。ホテルでもレスダウランテでも、いつも私たちが四人だけだった。暑さを凌ぐ夜の散歩はブラッサ、インデペンデンスだけでない。アベニダ、ウィルソンを走る専用車もまた然り。土曜日の故か、今夜は一際車が多いようだ。一寸教えて見ただけで、往路だけで一分間に二十七八台、往復では恐らく五十六十台が走っているのではなからうか。

しかも、これがサウバ蟻の様に深更一時、二時まで続く。だから全くもって愕んだ。今からイルカとオットセイの曲芸を見ようとバルケに入った。バルケはアベニダ、ウィルソンの西の外れであつて、此の遊船の中を私たちも車を西へ走らせた。天幕の下の水槽に飼われたイルカもオットセイも数多い去をよく仕込んでいろ。

イルカの輪くくり、オットセイのフットボールは羨望なもので、とても人間技、いや魚技とは思われない。オットセイは観客が手を叩けば、同じ様に手を叩き最後には観客に向つて座り頭を下げた。一芸師二編一毛を投げ手まわされるのだが、あの大きな海の動物が、鯨一尾とは哀れなものだ。

○ 大イルカを投げれば輪をくぐる

日本では駿河湾に面した伊豆半島の長岡市の水鏡館でイルカの曲芸を見たが、水鏡館といつてもイルカだけは海中に飼つていて、逃げない様に入浴を仕切つてある。調教師が海中の高い檣の上から操るのだが、四、五メートルもあろうかと思われぬあの重たさうな胴体を空中へ跳ね上らせて輪をくぐる様は実に壯観だった。

イルカは鯨の同族で、遊泳性も四、五分おき位に浮きよつては、二、三米位の高さに背中から潮を吹き上げている。潮を吹くのは陸の動物と同じ呼吸作用ださうだ。

このイルカについて面白い話がある。イルカの脳液は動物中で一番人間に近いといわれ、今アメリカで或る学者が脳液と記憶力を測定研究する研究を始めたさうだ。その研究の成果次第では、海に棲息している至然イルカの大群を利用して将来人間社会に役立て様と云う夢の様ださうだ。何とアメリカらしい金と暇とを持つて余す学者が居るものだ。まあ焦せらすに議長に待つことだ。

○ 海底より地震を予告するイルカ

○ 見惚れたるイルカの芸の涼しさよ

サントスよ、アテローゴ

私達のサントス行は、降り続く雨の中を決行したが、この悪天候を犯してサントス行きはおよしなさいよ」と、幾人かの人達から其の無謀を忠告された。まったくその通りで、狂気の沙汰とは思われない。別に自信があつたわけでもないのだが、来てみると昨日と打つて違って天候はかりりと二変してしまつて、午後二、三回軽い夕立があるた付で、口笛でも吹きたい様に恵まれた絶好の海水浴日和が続いた。

○ さつと来る夕立霽々町人出

愈々今日はサントスともお別れた。サンピセンテの町を過ぎると有名な移民道路と名付られた新らしい立派な道路にさしかかる。

次男完結

御礼

去る五月二十二日夜浪曲会を開催して皆様を御案内いたしました左記の方々より「明老会」へ金封宛の御花を下さいました。ありがとうございました。尚出演者リンズ浪曲会へは前以つて「寸志」を差上げて居りますので、御承知下さい。

五月二十五日

バストス明老会

山根	小田	宮本	浅井	筒井	平井	高井	大河	杉田	鶴山	早川
株	株	株	株	株	株	株	株	株	株	株
谷口	後田	岡田	無名氏	原野	杉山	上野	舟山	高橋	水野	藤野
株	株	株	株	株	株	株	株	株	株	株

南米の天地に志を展べし人 18

仲尾権四郎氏の巻

著者 岸本 丘、陽

仲尾組には一番骨の折れる割の悪い難工事の場所を割り当てられるようになった。「一生懸命に働いて良成績を挙げた者へ代償が」苦しみの連続、即ち最悪の場所のみを五、六回繰り返さずに与えられた非道いやり方をされたので、部下達は上司の不公平に憤りを鳴らし始めて来た。それに統制してトロッコ衝突事故が増え、そして繰り返され、その度に死人、怪人が続出する有様で、これは工夫監督の時間観念が無いため、こつちから行くのと、先方から来るのとが衝突するわけだ。

或る時、仲尾監督が安全な時間を見計らつて五、六キロ先きの仕事場に向つてトロッコを走らせると、先方から材料を満載したトロッコが物凄い速力で暴走して来る。こつちのトロッコも全速力で走っているのでどうにも仕方がない。愈々正面衝突の一メートル前、ほとんど危惧一髪の寸前で仲尾監督は命がけで飛び下りるや二、三回くるくるもんどりを打つて廻転すると同時にカチヤン!! と云う激突の大音響と共に先方の車に乗つていた工夫は頭死の重傷を負つてのた打ち廻っていた。

仲尾は死線にさらされ、もうそろそろ運命の転機が来ているのだと思つた。金も無かつたので、愈々理想の国建設の目的に向ふために、鉄道工夫の生活に終止符を打つことにした。

鬼のような工夫たちは言った。

「俺たちは練尾監督の下に居たのそ人殺しの喧嘩もしねえで面白く働けたの尻指遺言が汚らなかつたら俺たちは又風の子の様に何処へ飛んで行くかおろかえだ」と言つて拳で涙を拭いてゐる者もありた。

又中には「監督、貴方が何か仕事をすんだつたら、俺を使つてくれねえか、おろかえ、どんなことでも一生懸命に働くだ」と言つて同行を頼む者もあつた。

カンボクランテに土地を買い、獨住の道を行く

愈々最後の理想郷建設のために準備に取りかかるために、カンボクランテに足場を作ることにした。今から二十年前の一九一〇年であつた。その時分は連隊の所在地で、淋しい町であつたが、將來は師団が駐屯し、大郡に躍進することを知つて此地に永住の地を求めるところにした。

その当時の日本人は比米やハワイの轍を踏んで、一と働けしたら日本へ帰ろうと云う出稼ぎ根生であつたが、仲尾氏の意思は「本當のよい仕事は、浮き腰では出来ないものではない。先ず土地を求め、ドッシリと腰を落つつけ、資本を投じて永久的な仕事をすることだ。土地を所有しない生活は浮草生活で、根を張ることが出来ない。土地を求めたことはその人の仕事が半分成功してゐるのだ。何でもいいから自分の土地を所有しなければならぬ」と云う持論をもちつて、市から六キロの地点に二エクタール（一エクタールは百平方）の土地を買つた。他の人達は仲尾氏を嗤つた。

「ブラジルには肥沃な土地が無限にあるではないか。借地をして土地が獲せたら又新しい肥沃な土地に移つて作れば、常に多収獲が得られるのだ。目的は金だ。下手な土地などがかえたら身動きがでさぬことはないか。仲尾は馬鹿な真似を始めたものだ……」
果してその何れが善であるかは、その当時としては前例がないか、何人も断言できなかつた。只この仲尾氏は独自の境地に立つて動かなかつた。

先人の道は何時も反対、嘲笑の中によつて只一人ゆく悲願の道だのである。作物はバナナ、ニヤ（ジャガイモ）を作つて市民の食卓に上せ、カンボクランテを建て、二人共同でビンガを造り、ラッパドゥ（畑）の畑もやつた。金も次第に出来たので、市街地を買い、更に奥の方に百六十二エクタールに二万五千本の胡椒を植えこめて、土地を買つた。

彼は金か儲かると、それを他の人達の様に日本帰りの金に貯金をしておかぬして土地を買い、事業に投資していった。ビンガと胡椒製造で金も出来たので、三人の共同者は合意の上解散し、各自思いの方針に進むことにした。仲尾氏は市街地に家を建て、精米所と珈琲精選工場を建て、生産と加工と両面の仕事に乗り出した。

仲尾氏の事業精神は、

- 1 技術的な企業ではない。
- 2 確固たる地盤が出来たまでは借金をして事業はしない、金が出来るまで待つ。即ち堅実な経営をしてゆく。（但し事業が固定したらこの限りではない。借金もよし）
- 3 共同は何時までもやるものでない。自分の力がない時は或る期間同志とゆるむものだが、力が出来たら一人でやることだ。

4 共同の弱點は、事業が少し良くなると、一人は強強、一人は現状維持、一人は改革という風に意見がまろまろで纏まらない。このため却つて事業が後退し、破産に傾くことがある。

共同は自力が出来ぬまでの期間であつて、何時までたつていたら良い仕事は出来ない。自分の力が出来たら、自分の信する道に向つて進むことである。

カンボクランテ地凡地師長マラン中将は大の親日家で、特に仲尾氏の性格を好み、毎週土曜日は夫人同伴で仲尾氏宅に遊びに来るのを来しみにしていた。

マラン中将は大戦当時親親武官としてヨーロッパに派遣を命ぜられ、二十年の革命当時、セリリロ、バルガス氏の参謀総長として革命を成功させた獨謀の名将である。

中将は仲尾氏を愛することおか子の如くし、一杯氣遣いになると何時も口癖の様に言つことは、

「おいナカオ、わしはお前の家に来ると自分の子供の家に居ると同じように嬉しくなるのじゃよ。ナカオわしは只一つの不足を感じてるものがあるのじゃよ。」

「中将、それは何でしようか。中将を御満足させるためには僕ほどくんにでもその不足のものを整えます。」

「あハハハ、ナカオ、それは君が妻君をもううことじゃよ。もうナカオ、早く歸郷を買つて二人でおしを歓迎してくれんことじゃよ。仲尾氏も國を出る時は二十四歳の紅顔の青年であつたが、異郷の山野に愛を重ねつて運命の閉塞に奔命してゐるうちに歳月は早くも過ぎ去つて三十八歳になつたのである。以下が男へ

土地売り度し（ナアルケール）

私儀

今回子弟教育（通学）都合上、上聖致し度く、永年住み馴れた土地を売り出す事になりました。

- 場所：グロリアⅡ区 八十六号地 21.2418 m. m. m.
- 建物：住宅及び倉庫及び鶏舎三棟 8.8.8.7
- 作物：ホンカン（名樹一千株・古樹三百株）

○ その他、雑作地が六アルケール以上ありますので養鶏、養蚕業に、又カフィー・アモンドインの栽培に適して居ります。

○ 市街地に近い（三キロ以内）ので、通学に便利です。

○ シンチオ（土地）は高台にありますので、とても見晴しの良い所です。

○ 御希望にまれば（五アルケール）でも御相談に志します。

グロリアⅡ区 四組

三宅一男

世界郵便連盟伯国加盟百年祭

ハストス郵便局四十年 記念切手発行

去る五月二十五日は我がブラジル国が世界郵便連盟に加盟して清百年を記念する日である。又われわれハストス移住地が正式に郵便支局として発足して四十年を記念する年でもあり、これを祝してハストスの記念切手が発行され、ハストス郵便局では移住者各位へ招待状を贈り、式典は同日午前一時より総合会館に於いて挙行された。世界郵便連盟はスイソ国の首都ベルナ市に於いて一八七四年に発足し、わがブラジルはプリンゼイザ、イザベルが一八七五年五月二十五日この連盟に加盟し調印された。

一九三五年筆者がハストスに入植した当時は、畑中さんの向側に移住地の郵便取扱所があり、森重清氏が担当して居られたように記憶しているが、正式に認可された郵便局ではなかったように思われる。尙故なれば、森重氏は時々ランシマリアの郵便局へ切手を買い行かれたし、切手が売り切れ無しの時もあったと記憶している。しかし、その当時からハストスに電話が架設されていて、各商社や、セツソンに、ニカ所電話をひいて居て、火急の場合には便利であった。これも戦時中に没収されてしまったが、エスベランサ区、サウデーテ、ランシマリア街道には二十年位前までは電柱に電話線が垂れ下って名残をとどめていた。

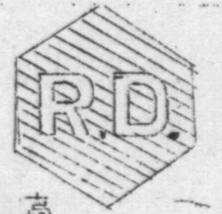
往古は通信に人が歩いていくよりも、又馬や車にのって行くよりも早く知らせる方法はないものだろうか、昔の人も考えたであろう。こうして、いろいろと通信の方法が考えだされた。

〇のろし、はじめに考え出されたのは、遠いところから見えるように、山の高いいただきを火をたき、けむりをあげるのが(のろし)で、山から山へ次々と(のろし)をあけて、約束をしておいた合図にしたが、(のろし)の前もって約束をきめておくことが必要で、そうでないときはやはり、人がかかってこって知らせるより外はなかった。現在運動として行われているマラソンは、昔ギリシヤの軍隊がペルシヤ軍隊を打ちぶった時、それを本国に知らせに走って行ったということが、はじめだと云うことだ。マラソンというのは、その土地の名だという。

日本では江戸時代になると、江戸(東京)と大阪、京都との間には手紙が届くようになった。それは、手紙を早く届けてくれる船業の人が出来たからだか、これを飛脚と呼んだが、さて日本が世界郵便連盟に加入したのは、果して何時頃であったのだろうか。書物で調べたことがあるが忘れてしまった。

電報も汽車も船舶も日本よりブラジルの方が古い歴史があるという。電話、電信がいかに発達しても手紙が不必要になるといふことはないだろう。世界郵便連盟(U.P.U.)にプリンゼイザ、イザベルが加盟してくれたおかげで、わずかの切手代で世界中どここの国へでも一週間の外の手紙が届くのである。

日本では、とん田舎でも山奥の一軒家でも手紙は毎日に配達されるし、大都市では遠くは一日中に何回となく配達されるが、ブラジルでは大都市以外は配達はない。これは国土が広大で、配達しないのではなく、しようにもできないのである。 完



これがラッソンツットラの
大きな特徴です

高度の経済効率
厳格なる品質管理
安定度の高い配合

皆さんの鶏の健康を守り、より多き利潤を産み出す飼料として、ラッソン ツットラ株式会社では研究を重ねるあらゆる技術を駆使しています。十日間お試し下さい。ば、ラッソン ツットラの効果があらわれます。

RAÇÃO DUTRA



パウリスタ地方総代理店

前山商店飼料部

養鶏飼料販売部員

佐藤 豊
木口 常治
藤 武良郎

右の販売部員が以上の部は何方よろしくお願ひ致します

連載小説

蒼氓

そらぼう

20

著者 石川達三氏

次に、日本へ電報をうつりたい人は今日一杯受けつける。明日からは、直接電報がしかかくなる。今日のうちならば一音信八十銭で坂うという通知。それから青年会の運動部員にむか、この通知で、デッキで運動をしたい者には船にある柔道着と畳と剣道道具を貸す。各自臨時に使ってかまわない。道具は運動部長岡田君責任保管とするから、希望者は岡田君の許可によって使用すること。船中生活は運動不足にけり勝たから大いに利用してもらいたい。

航海の教員に返屈していた青年たちは、ひろ瀬から早越後甲板四番ハッチの横置置を放いて下メバタと索道をけじめた。する事がなく困っていた移民たちはぐるりととりをいくく物していた。青く晴れた空と紺碧の海が垣見えるかざりのものである。この大海のなかで、二人の青年がからみ合って永遠をしようしている姿は何か異様であった。

ず、と船首の舟は六修が温かくけつたので一番ハッチの上に向は、向は、こをしてる者が多かつた。下の窓のような窓から寒風を突っかけてのそりとデッキに出てきた。日光の強さに眼を細くして日向に坐り込む娘とづれの移民たちは、春を迎えて冬ごもりの穴から出る獣のようであった。

「ほらー、飛んだ飛んだ。何とよく飛ぶもんだな。三十間も飛ん

「あ、あれは飛魚の美しさに感服して叫んだ。飛魚あがる飛魚の美しさに感服して叫んだ。」「お、姉さん、来て見れ、飛魚だ」と孫市が叫ぶと、撥気筒にもたれて日向ぼっこをしていたお夏は弟のそばへ寄って「んだな」と答えた。

「なに、とっも飛ぶべ、はう、はう！ 遊ぶ力で飛びよるだべな」孫市がいくらか愕いた声を出しても、お夏はただ「んだな」と答えるばかりであった。いつでも何かしら他に気をとられていような女であった。

医務室は多忙であった。神戸の収容所から「航海中に泊獲すのトラホーム患者」として船のドクターに通告された者が百何十名、それが一日中勝手な時間に来ては、かわるかわる泣き顔になって戻って行く。また神戸から持ってきた風邪が船中であまり流行して、熱が出たとか、喉がいたむとか訴えて来る者が多い。泊獲費がいないというので、移民たちはこの時とばかり医務室へ向ても持ちこんだ。

ドクメーも忙しかつたが、二人の看護婦も大変だった。夜になつて少し暇になると、彼女はかわるがわる小水に訴えるのであった。「ぞりや、陸の患者とちがいますよ。ドクターの言う通りにちつともしないんですからね。神戸を出てから診察をした人数が毎日三百人ですよ。その外子防注射があるなし、こんな風邪の多い船ははじめです。もう疲れたような気がするわ。いつの航海でもね、わたしこの船で四航海目ですけど、サントスまでに一週五百人減りますよ。それが日本へ帰るあいだにまた恢復するの。私は肥って居るから自たないけど、芝田さんなんか、カマスの故拘みたいになって、可哀相よ」

睦吉ながら二人は制服のポケットから茶缶を出した塩豆を出して、ぱりぱりと齧っていた。船の食事は麦飯であった。神戸の収容所へはいった時には、国費をもって養なれるという二に感謝する気持ちもあって、文句を言われた義理ではないと思っていた移民たちも、段々に貧乏不平をこぼすようになっていた。

そこで、船の肥った事務員が船務事務室へ出かけて註文をした。「ああ小水さん、一つねえ、頼みたい事があるんですよ」「何ですか？」

「麦飯のことですか？ あ、いつの航海でもどうも麦飯のことで不平が出て困るんですよ。一つ新聞の中に書いておいてくれませんか」「ああ、それですね、僕もさうと思つていましたんですよ。麦飯は絶対必要です。今日の新聞で早速やりましょう」

小水助手は例の早のみこまで引さうけると、学芸員に命じてプリントにかかった。――麦飯について。船ではいま麦飯を皆ごんに出してありますが、うまくないと不平を言わないようにして下さい。これは絶対必要なことです。長い航海のあいだにはどの船でもきつと運動不足から脚氣になる人が多数あります。ブラジルではトラホームと同じように伝染病としての取り扱ひをうけておられますから、上陸禁止になります。この恐るべき脚氣予防には、常に麦飯を食へることが必要です。

この点をよく御承知になつて、麦飯に対して不平を言わないようにして頂きたいと存じます。

それと同時に天気の良い日はデッキに出で運動をせられんことを望みます。云々

これは全くこの通りであるが、この話と同時に妙な流言があった。「船の食事はさうものは司厨長の請負仕事で、予備よりも安く上げれば、それだけ彼一人が儲かるのだ。だから大切な一等客には上等の食事をしても、人数は少いから、大さな揚米にはならない。移民の方は多人数だから、一人の食事を一銭安くすれば九百人で凡円、一三三度で二十七円・サントスまで四十五日とすれば、千二百十五円、これが司厨長のふところに入る。だから船の司厨長に打るためには大枚の金を出して運動をするが、さう司厨長になつて二三年もたつた者なら積相当の財産をのこしている。だから船中の食事は彼の財産と反比例して悪くなるのだ。」

これは少し専門的語で、移民たちがこんなことを知つていゝわけはない。三等ホワイたちが暇つぶしに移民たちに話したことかひろがったにちがいない。この船の司厨長は九州豊後の硬骨漢で、五十すぎのたるんだ唇にウエストミンスターの香高い煙草を絶え間なしに吸えていた。高級船員たちは彼に打ると大方は事務長の室へ集まった。時には村松監査も一席に加わつた。まず司厨長が来る。甲斐屋の向松が肥えた大さな肩をさびやかし入ってくる。次に機関長が一風呂あびて油を洗ひおとしたさっぱりした顔になつて、ナイトカウンの前を掻きあわせながら来る。

FABRICA de GRANITO
Av. Rio Branco % C. Post. 23. Fone 515
ADAMANTINA. E. S. P.

大西石碑工場
大西文吉
電話 五千五番
郵函 二十三番

日本式及ブラジル式
墓 碑 記念碑
胸 像 石 燈 籠
石 白 もち白
石材美術彫刻類一切製作
古い墓の修理もいたします

アマゾンチーナ市リオブランコ大通り

ダツタ分譲

○ スペルメルカード用 20×34m
前 アベニダ ガスバル リカルド
横 ルアアルミランテパロスのエスキナ

住宅用地
○ 前アルミランテパロス 12m×20m
横 アベニダ ガスバル リカルド
○ 前アルミランテパロス街 12m×20m
○ 前アルミランテパロス街 10m×20m

JARDIM HIKARI
RUA ALMIRANTE BARROSO
RUA ALMIRANTE RICARDO
QUADRA 97

御希望の方は直接御来訪下さい
アベニダ ガスバル リカルド 一 二番地

西ヶ迫秀男

是非観ておきたい名作映画紹介
久松静児監督作品 芸術祭参加作品

地の涯に生きるもの

さいはこの流水に列む男のすまじい命。(十歳以上)

ものかたり

アイ又たちが、彼らの言葉という(シレトク)知床は大地の涯を意味する。実際知床半島は北海道の最北端にある。人間の姿が見られるのは六月から十一月まで、潮の満ちて魚群や海獣がやって来る時だけ人間の姿が見られるだけだ。その他の月日はオホーツク海の嵐と流水にとじこめられて太古の昔が戻ってくる。オホーツク海は秋が深まるにつれて荒れやすくなるのだ。

こんぶ採りの漁師、鱈漁師と去って行き、最後に鮭漁の人達が帰ったあとは烈風に海は水流が躍り狂い、吹雪の吼叫がなから地獄の様相だ。この烈風の中にとり残された老人、村田彦市という名の留守番さんだ。留守番さんとは漁師の番屋を守る男なのだ。

人々の去った後には鮭や鱈、鳥獣などの臭が染み付いた漁網だけが夏の日に忘れ難いかのように残っている。それをねらうて麻もか押し寄せくる。綱を守るのが彦市老の仕事の一つだ。そのため猫が飼われている。十匹に余る猫に餌を与える仕事は孤独な彦市の日課である。

半年の間、吹雪と痛いような寒さの中で十匹余りの猫をあいての毎日かろろと過ぎてゆく。老人は過ぎた若い日のことを押しかみしめていた。

彦市は知床半島の東側、オホーツク海に面するウトロ港近くのオシッコシンの番屋で明治二十三年に生れた。

国後島に移った青年彦市は番屋の飯炊き娘おかつにぞ、こんねれこみ、鉄十から金を借りたために鉄十のものになってしまったおかつを決闘の末自分のものにした。三十四歳になった彼は独航船の船長としてトラバ壱を運っていた。次々と子供が生まれた。しかし長男彦作は氷乗り遊びで流され、遂に帰って来なかった。次男の彦吉は戦死し、三男の謙三だけが残され、これも徴用で東京へ。

終戦を迎えた彼は、ソ連領となった国後から生れ故郷ウトロに引揚げた。東京から帰って来た謙三は漁師になりたがらなかつた。そんなとき彦市はおかつを失った。綱走の病院へソリで運ぶ途中雪原のまっただ中で苦勞をさせたおかつは死んだ。

母親の死にかけた謙三はいよいよ漁師になった。しかし羅臼港で自分の独航船を走らせる謙三はやはり彦市の子供だった。彼は何か綱走に行きたかった。しかし船をとりに出た謙三は帰らぬ人となった。

それでも彦市はもう一人子供が居たら漁師にしたいと思った。田島の親方の下で番屋の面倒を見ることになった。

そんなある日、若い女が番屋にたずねてきた。謙三の恋人牙子だった。彼女は綱走から謙三をのんぼ荒れる海を見に来たのだ。彦市は彼女の前に父親の名のりをさげた……

久しぶりに雪がやんだ朝彦市は猫に餌をさえていて、トラが一匹居ないことに気がついた。彦市は氷流盤の朝日輝く戸外に出て愛猫の名を呼びつけた。

Organização Social de Luto a Regional
Rua Ademar de Barros nº 295, Fone: 361 Bastos E.S.P.
Residencia no local, faça Bastos crescer prestionado seu comercio e direção de aparecido feliciano ribeiro EX Funcionario da funeraria SÃO PEDRO.
artigos funeraria prestação serviço, FLORES.
Coroas, velas Hossenko, Hinaie artigos para UMBANDO em geral. Atendimento pelo INPS e Funeraria atendese dia e noite,



葬具店 フネリア サンペードロ
後藤さんのガソリンポストの向い側で開業しております。普通の葬具店の附属品の外に、生花、花輪、線香、ローソク、位牌など仏式による必需品も用意して居ります。尚 INPS の受付も致します。昼夜の別なく受付けております。電話で御用命下さい。
バストス市 ルア アデマル デ パーロス 295番地 電話 361番

御礼

金一封也

御事松井正司様御不幸の御り甚哀感として前記の御高階を渡さました。厚く御礼申上げます。

松井賢一様

アルト区

「トラワー、トラワー」空には冷たかか舞っている。はげたかは氷盤の上に出ているラッコなどを襲って餌食にする。トラは氷盤の上には居てはたかに寝ねわねわしていた。彦市は鎖鏡を片手に氷盤へ走った。二十数年前長男彦作は氷盤の上に乗って進んでいる内に氷盤が潮の加減で動き出し、気付いた時には氷盤と陸との間に相当の距離が出来、彦作は氷盤と共に泣き叫びながらオホーツク海に流された。今彦市の耳には彦作の幼い泣き声がよみがえり、愛猫トラが彦作のように思えてならなかつた。

「トラッ、爺がいま物けてやるぞ」と、既に動き出している氷盤へ彦市は飛び乗り、走って愛猫を抱きあげ、引き返えそうとしたが、陸と氷盤と相当離れていたが、彦市老は身をひろがえて陸地へ身を躍らせたが、老の小さな氷。た岸辺に足がにべり氷けた海中へ落ちた。彦市は浮びより這い上ろうとむかいた。氷の岩壁には掴る何ものもなく、這って這って、沈み、浮び上っては這い上ろうと試みた。もうゆく遠ったが、力尽きて立上ることが出来なかつた。閉じた眼裏に彦作、彦吉、謙三、おかつの叫声が明滅した。誰も居ない知床の岩壁に……彦市がこぼれ愛した海に彦市は帰っていったのだ。知床半島の春はまだ二月先である。(終り)

死亡通知並に会葬御礼

弟、松井正司（二十八歳）儀去る五月二十一日エルクランツヤ
 附近に於いて不慮の事故にて死去致しました。依って翌二十二
 日自宅出棺バストス墓地に埋葬致しました。
 生前御交誼を賜りました皆様には謹んで御知らせ致します。
 尚、葬儀に際しましては御多忙中にも拘わらず遠路のところ
 態々御会葬下され、その上過分なる御香典御供物を賜わり厚く
 御礼申し上げます。

実は一々参上の上御礼申上げざるべきこそ取込中に其の意を
 得ず、失礼ながら紙上を以て厚く御礼申し上げます。

一九七七年五月二十五日

バストス市アルト区

喪主兄

松

井

賢

一

妻

ク

リーシヤ

兄

ク

マサ

妻

ク

マサ

弟

ク

マサ

親戚代表

ク

渡

有

友人代表

ク

水

昭

磯

村

マ

リ

オ

バストス市役所 様

バストス市会 様

イアクリ市役所 様

ブラビスコ商工会 様

バストス病院 様

バストス婦人会 様

プログレッソ区 様

アルト区 様

会葬者御一同 様

Arquivo de Cine Bastos

六月三日(金)八時 四日(土)九時半 監督 小沢茂弘
 東映 総天 然色 **望郷子守唄** 高倉健 新人 松平純正
親の情に背を向けた、馬鹿な男の行く先きは、渡世のしがらみ修羅の血潮

六月五日(日)九時半 六日(月)八時 監督 中島貞夫
 東映 総天 然色 **暴力金脈** 松方弘樹 丹波哲郎
 梅宮辰夫 若山富三郎
 池玲子 大瀬英治

六月十日(金)八時 十一日(土)九時半 監督 谷口千吉
 東宝 総天 然色 **奇巖城の冒険** 三橋達也 中丸忠雄
 三船敏郎 浜美枝 田崎潤
 佐藤允 英林英子 有島一郎
王城を救え、砂塵を蹴つて黒蓋賊を撃滅する怪男児、奇想天外ノ波乱万丈の大冒険、組織暴力をバックに脅迫、密殺人の高法ノ大資本のカラクリにくらいついた、

六月十二日(日)九時半 十三日(月)八時 監督 熊井啓
 東宝 総天 然色 **朝やけの詩** 仲代達矢 比大路欣也
 関根恵子 佐分利信

六月十七日(金)八時 十八日(土)九時半 監督 吉田憲二
 東宝 総天 然色 **モスクワが愛** 栗原小卷 斎藤真 下條正巳
わたしの愛が消えて行く、私の夢が逃げて行く、モスクワの春を待たずに、

六月十九日(日)九時半 二十日(月)八時 久松静児監督作品
 東宝 総天 然色 **地の涯に生きざるもの** 森繁久弥 西村晃
 司葉子 草江光子
さしはての流氷に刻む男のすまじい命、眼をる海に散りた恋を流し、そして男は生きて来た、

Auto Mecnica BASCAR LTDA.

Rua Adhemar de Barros -295, Fone.-156 Bastos E. S.P.

Agora em Bastos há um oficina que você esperava, om mecanicos especializados em VOLKS WAGEN e CORCEL,retifica de motores com assistencia preços modico e Auto Mecnica BASCAR LTDA,e todo que você esperava de uma Auto mecanica.

AGRADECEMOS A SUA PREFERENCIA



皆さんお待ちかねの
 ボルクスワーゲン車
 及びコルベール車専門
 のオフイナを当バスター
 市に特設開業して居ります
 最高技術のテクノコが皆様
 の愛車を完全修理と調整で最高
 の性能を発揮することが出来
 ます。修理費は奉仕的安価で
 御用を頂いて居ります。

ルアアテマルデバロス二九五番地
アウトメカニカ
バスター商会
 電話 一五五六

NOSSA RELOJOARIA

TAKAMI SHIBATA Rua Adhemar de Barros.-213, Fone.-156, Bastos

記念品とお祝のプレゼントは
 当店でお選びください

腕巻・柱掛・置時計
 世界中の高級時計が一切揃って居ります
カラーテレビジョン
 色彩の美しさと鮮明なる映像と音の良さノ
ステレオグラブドール
 臨場感と立体音響の迫力とボリュームノ
小型電子計算機
 正確で迅速な計算になくはならぬ必需品ノ
結婚祝いのプレゼント
 贈答用品が色々そろって居ります。
宝石・ゆびわ・めがね
おみやげ用品色々

ルアアテマルデバロス二一三番地
 レロジョアリア タカミ
柴田時計店
 電話 一五四番